

# やましる里山の会植物観察会

7月植物観察会 7月7日

京田辺市飯岡：船の公園 9:50 集合

木津川左岸堤防法面を下流に向かって観察開始

カラムシが群生していました

カラムシの茎の筋で織物を織った⇒カラムシ織、とても丈夫らしいので縄に編んだりもした  
カラムシは葉っぱの裏が白い、風が吹いたとき遠くから見ると白い花が咲いたように見えた（湯川さん談）

セイバンモロコシが猛威をふるいかけている、根茎、種子の両方で繁殖するため、他の自生の植物たちにはちょっと迷惑な存在。

コウゾリナ、ウツボグサ、ミヤコグサ、ヒメスイバ、オッタチカタバミ、ヒメヤブラン、ヒナギキョウ、ヤブカンゾウなど観察してちょっと休憩、おやつタイム

その後河川敷の方へ移動して散策観察

カワラサイコの見事な群生地

**カワラサイコ**（河原柴胡） バラ科



花径：10～15mm 草丈：30～70cm  
河原や海岸の砂地に生え、風邪などの漢方薬の原料であるサイコ(柴胡)の根に似ているというので、カワラサイコという名前がある。



**カワラナデシコ**(河原撫子) ナデシコ科



別名：ヤマトナデシコ  
ナデシコの名は「撫し子」からという、薄紅色の上品な花、淡緑色繊細な茎葉のかれんさが、可愛い子供の頭をなでるのに共通した意義を持って、ナデシコの名ができた。



**カワラヨモギ** (河原蓬) キク科



川原（砂地）に生えるヨモギという意、  
花期は9～10月なんで花には会えませんでした  
生薬名：茵陳蒿（インチンコウ）  
皮膚のかゆみに茵陳蒿（インチンコウ）の濃厚な煎液で患部を洗う  
と良い。

**カワラマツバ**(河原松葉) アカネ科

川原などに生え、葉が松葉のような感  
じなので「河原松葉」。  
というようです。



朝方、雨が降ったんで心配だったけど、集合した時には雨も上がり  
ラッキーでした。

その日観察した木津川の河川敷はとても素敵なところでした、  
カワラナデシコ、カワラサイコの群生を見て感激でした  
けど、セイバンモロコシが勢力を広げてきてるようでちょっと脅威  
に感じたのは参加した全員の思いだったことでしょう。

コウゾリナ、ウツボグサ、ミヤコグサ、オッタチカタバミ、ヒメヤブラン、ヒナギキョウ、メハ  
ジキ、ハナハマセンブリ、イヌコモチナデシコ、ヤブカンゾウ、ヤナギバヒメジョオン、（遠目  
に見るとカスミソウのように見えました）ヤマアワ、なども観察できました



コウゾリナ



ウツボグサ



ミヤコグサ



オッタチカタバミ



ヒメヤブラン



ヒナギキョウ



メハジキ



ハナハマセンブリ



イヌコモチナデシコ



ヤブカンゾウ



ヤナギバヒメジョオン



ヤマアワ